

学校に少しずつ慣れ、 元気に頑張っています！

校長 府中 恵理

やわらかな日差しを浴びて若葉が一層色鮮やかで、頬をそつとなでる風にも心地良さを感じます。

先日の授業参観には、多くの保護者の方々がお越しくださいました。ありがとうございました。

全校児童325人でスタートしてから3週間目が過ぎようとしています。1年生も小学校生活にも少し慣れ、17日から、給食も始まりました。給食当番の仕事やエプロンのつけ方なども学習です。6年生のお兄さんやお姉さんのアドバイスのもと、慎重に、上手に配膳しています。美味しくいただいておりますが、メニューにより苦手な食べ物も出てきます。少しずつ食べられるよう頑張っていきたいと思います。

学校給食は、栄養のバランスを考えるとともに、地産地消の観点も視野に入れメニューを決め、美味しく安心・安全な給食づくりを心がけています。本校の3人の調理員も子供たちが喜んで食べてくれるようにと、精一杯頑張っています。「残さず食べてくれると、頑張った甲斐があったなと嬉しくなります」と、話しています。

どうぞ、家庭でも毎日の様子を聞きながら、食育の推進にもご協力くださいますようお願いいたします。



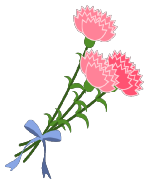
挨拶できる子供たちが素敵です

朝、登校してくる子供たちを校門で迎えていますが、いつも元気に挨拶できる子供たちに育ってほしいと願っています。校門に立っている私の前までくると、しっかり立ち止まって、「おはようございます」と、笑顔いっぱい元気な声で挨拶してくれる子供もいます。

その笑顔と元気な声に私の心も弾みます。また、校門に立つ私の姿が目に入ると、遠くからでも大きな声で挨拶してくれる、5年生のお友達にも、いっぱい元気をもらっています。

西原自転車さんの前の交差点で、毎朝、見守ってくださっている地域安全推進委員会の会長の木村さんはいつも「子供たちに声をかけて返してくれる言葉で嬉しくなります」とおっしゃいます。舟津交番の前では、老人会の佐野さんと濱田さんが、端ノ丁公園の前では、木村さんが毎日、それぞれ見守ってくださり、気になることがあれば、学校へ連絡をくださいます。大助かりです。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

家庭訪問のご協力、ありがとうございました



家庭訪問では、短時間でしたがお家の様子等を聞かせていただきました。繋がりの一歩でした。1年間をしっかりと繋がり、お子様を育てていきますのでよろしくお願いします。

コミュニティスクールの取組を一層推進

平成30年度から進めているコミュニティスクールという、砂山の子供たちを育てるために、また、学校だけでは解決できない様々な課題解決のために、学校と保護者だけでなく、地域も協働した取組を進めようとして取り組んでいるところです。

子供たちの学力・体力の向上、学校生活を充実させるために、二年目の取組を一層充実させてまいります。そのためには、各家庭での子供の基本的な生活習慣の確立や家庭学習の充実へのご支援をよろしくお願いします。

先達さんに学校で支援していただいて

昨年度から、砂山地区婦人会の宮井さんや老人会の佐野さんを中心に地域の方々（先達さん）が子供たちの学習や生活の支援をしてくださっています。

また、砂山地区地域安全推進委員会を中心とした地域の方々のおかげで、子供たちは毎朝、元気に登校してきます。会長の木村さんをはじめ、地域の皆さんにお世話になり、本当にありがとうございます。

今年度から、また、お二人の先達さんが学校に入ってくださいます。村田さんと宮坂さんです。低学年の授業のサポートや絵本の読み聞かせに来ていただきます。

不定期にでも結構です。地域の方々や保護者の方々の応援をお待ちしています。